



御前山ビオトープ周辺の植物等

山野や丘陵地に生える多年草です。茎につく葉は互い違いにつき、上部の葉はしだいに柄が短くなります。花は淡紅色から白色まで変化が多く、内側には濃い斑点があります。名前は下向きに咲く花を、火を灯して垂れ下げる提灯に見立てて、火垂（ホタル）とし、さらに花の形からブクロがついたとする説と、子供がホタルを花の中に入れて遊んだとする説があります。

ホタルブクロ



（キキョウ科 ホタルブクロ）
（写真・データ提供 御前山ダム環境センター）

市制施行15周年

合併からの15年を振り返って

本市は、今年10月16日で市制施行15周年を迎えます。この15年間の主な出来事を振り返ります。

市章（平成17年3月制定）

常陸大宮市の頭文字「ひ」を川の流れにたとえ、人々のふれあい、人と物、産業、文化などの交流を通じて、街が大きく発展していく様子を表しています。外側の円は英文字の「O」、5本の線は旧町村を示しそれらがひとつにまとまり、新しい市として歩み始める団結を表現しています。緑色は豊かな山々を、青色は恵みをもたらす久慈川、那珂川、緒川を表しました。応募総数934点の中から選ばれました。



人面付壺形土器を発見（平成18年1月）

鈴木素行氏による学術調査の結果、泉坂下遺跡（泉地区）から約2,300年前（弥生時代）に作られた人面付壺形土器が発見されました。この人面付壺形土器は、高さ77.7cmの愛称いずみ。平成29年度には、泉坂下遺跡が国指定史跡、泉坂下遺跡出土遺物が国重要文化財として同年度内に指定を受けました。発掘された土地が国指定史跡に、出土品が国重要文化財となったことは、数少ない事例となりました。



▲学術調査の様子



▲いずみ

市制施行15周年記念ロゴマークを制定

市の花であるバラをモチーフとし、これからの未来に向かい「オール常陸大宮」で心をひとつに丸となって進むことを丸型で表現したデザインです。

金色：市が持つ資源（人・モノ・コト）の豊かさを表現

水色：市が持つ爽快感・解放感を表現



紺色：市が持つ落ち着きと安心感を表現

緑色：市が持つ自然とリラックス感を表現

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会

2019年9月29日（日）～

10月1日（火）

西部総合公園体育館



常陸大宮市の人口

（7月1日現在・推定常住者）

総人口 40,054人 世帯数 16,082世帯
（男 19,763人 女 20,291人）

広報 常陸大宮 7月 第178号

発行日 令和元年7月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>

